

# ドイツから木造パッシブハウスの未来

# Bio Seminar 2017



日本国内でも木材の建築物への活用や室内の木質化する機運が益々高まるなか、欧州ドイツにおいても木材などの自然素材を活用した環境順応型のエコロジーな建築が先進的なモデルとして注目を集めています。今回、持続可能な建築をテーマに掲げ、CLTをはじめ木造建築においても先駆的な取り組みとデザイン性を誇るフランク・ラトケ氏(ドイツ アウクスブルク)と、パウピオロギー(健康・環境に配慮した)建築に精通したホルガー・ケーニツヒ氏(ドイツ ミュンヘン)のお二人を招き、持続可能な木造建築の取り組みと、建築におけるドイツ環境政策を交えお話し頂きます。今後、日本国内でも進む環境に対応した持続可能な木造建築において大きなヒントを得るセミナーです。

Der moderne Holzbau ist unsere Kernkompetenz – der Werkstoff vereint Ökologie, hervorragende technische Eigenschaften und Ästhetik.

latke architekten

独 → 日 同時 通 訳



## フランク・ラトケ

Frank Latke latkearchitects(アウクスブルク)

1968年 テュービンゲンに生まれる。ミュンヘン工科大学とマドリッドにおいて建築学を修了。オーストリア ブリスベンにあるDonovan Hill Architectsに勤務。2003年には自身の事務所をアウクスブルクに設立する。2002年～2014年に工科大学の木造建築学科において、建築学教授ヘルマン・カウフマン氏の研究助手として研究と教育に携わる。彼の主な関心は、建築において持続可能なソリューションへのデザインと持続可能なアクションの組み合わせを開発すること。フランク・ラトケ氏は、BDAのメンバーであり、バイエルン建築家議会の会長を務め、また公共物件のプロポーザル審査員としても活躍している。



## ホルガー・ケーニツヒ

Holger König Ascona for ecological projects(ミュンヘン)

1951年ミュンヘンに生まれる。ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。ミュンヘンにて建築家 高等教育の教員を経て、1981年まで、ミュンヘンの都市開発計画事務所に勤める。1983年～1994年エコロジー建材店および家具工場の「ホルツ・ケーニツヒ」を設立。また、妻とともにケーニツヒ=フェリケリウス建築設計事務所を主宰し、パウピオロギー・パウエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年～2001年まで「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。2001年以降は、LEGEPソフトウェア社を設立し、ドイツにおけるサステイナブル建築の認定システムに力を入れ、BNB(サステイナブル建築の評価システム) 及び DGNB(サステイナブル建築のドイツ協会)の監査役を担う。また、弊社イケダコーポレーションが毎年開催するエコパワ建築ツアーのツアーコーディネーターを務める。主な著書は「健康な住まいへの道 パウピオロギーとパウエコロジー」(建築資料研究社 2003)「断熱材とその利用法」、「小屋裏空間」(1996, Freiburg) などがある。

Tokyo

CPD  
4単位

2017.04.05 WED

Osaka

CPD  
4単位

2017.04.06 THU

主催: Ikeda 株式会社イケダコーポレーション 協賛: ナイス株式会社

後援: (公社)日本建築士会連合会 (公社)日本建築家協会 在日ドイツ商工会議所

(一社)パッシブハウス・ジャパン (一社)木のいえ一番振興協会 新建新聞社 日刊木材新聞社

NiCE ナイス  
すべてがニイス



AHK  
German Chamber of Commerce  
and Industry in Japan  
ドイツ商工会議所

PASSIVEHOUSE JAPAN 木のいえ一番!